

鞍手地区点検評価委員会の意見書

令和5年10月25日

鞍手町教育委員会 殿

点検評価委員会

委員 福岡教育大学

豊島啓司

委員 宮若市

下田和子

委員 鞍手町

石松和彦

委員 小竹町

長谷川富恵

令和4年度の貴教育委員会の運営状況について、点検及び評価をしましたので、別紙
のとおり意見を報告いたします。

	点検及び評価に関する委員会の意見
教育委員会の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の運営及び委員活動については、概ね良好に実施運営されている。
教育施策の主要施策の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徹底反復・集中速習による基礎学力の定着と活用力の育成 ○ 学力向上プランの活用促進 (R-P. D. C. A) ○ いじめ・不登校児童生徒に対する組織的な取り組みの推進 ○ 公民館事業の推進及び活動の促進 ○ 人権・同和教育の推進 ○ 歴史民俗博物館の充実・発展
取組・事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徹底的な反復学習を実施し、基礎学力の向上や定着に取り組んでいる。 ○ 学力向上委員会を設置し、全国学力学習状況調査・福岡県学力調査の結果を踏まえて各学校での成果や課題を明らかにし、基礎・基本の定着を図り、学力向上への取り組みを行っている。 ○ 心の充実を図るため、中学校にスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し、いじめ・不登校問題について取り組んでいる。 ○ 公民館講座では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、「読み聞かせ」、「歴史講座」、「介護講座」、「ヨガ体験講座」を開き、事業の推進に取り組んだ。 ○ 各小学校と中学校の7ヶ所で開催している人権問題地区学習会では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施し、3年ぶりに地域の方々と児童・生徒と一緒に参加することができ、町民の人権学習の機会を確保することができた。 ○ 博物館では、県指定史跡伊藤常足旧宅保存修理完了記念企画展「伊藤家三代 常足・南華・直江」を開催した。期間中は、県指定となっている文書や歌集等を展示した他、旧宅の解説パネルや、周辺の様子を写真パネル化したものを展示した。保存のため長期間公開できない展示品は期間を限定し、特別公開を行った。また、講演会や旧宅の現地解説などのイベントも行い、約1ヶ月半の期間中に本館企画展に447人、旧宅に110人の来館者があった。充実した企画展開催により、文化活動の振興ができています。

令和 4 年度 教育委員会点検及び評価表 (鞍手町教育委員会)

教育委員会の開催状況

<p>定例教育委員会</p>	<p>開催回数： <u>11</u> 回</p> <p>議決事項： <u>115</u> 件</p> <p>【内訳】</p> <p>条例・規則等 <u>4</u> 件、予算案 <u>2</u> 件</p> <p>方針・計画等 <u>22</u> 件、人事案件 <u>19</u> 件</p> <p>委員等の任命・委嘱 <u>3</u> 件、</p> <p>その他 <u>65</u> 件</p> <p>協議事項： <u>21</u> 件 (人事案件等)</p> <p>報告事項： <u>94</u> 件 (予算関係等)</p> <p>【研修等委員会協議活動以外の内訳】</p> <table border="1" data-bbox="316 1021 858 1460"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実施回 (日) 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校訪問</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭等</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>学校開放事業 (E ウイーク)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>学校経営説明会</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	実施回 (日) 数	小中学校訪問	3	入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭等	22	学校開放事業 (E ウイーク)	0	学校経営説明会	0	<p>(評価・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町の教育委員の構成は、男性 2 人、女性 2 人となっている。令和 4 年 10 月で任期満了となる委員から辞職の申し出があり、後任として新たな委員を任命した。 ・毎月の定例会のほか、小学校の統合に関して臨時会を開催し、活発な議論を行った。 ・首長と教育委員会が、十分な意思疎通を図り、町の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を行った。
内 容	実施回 (日) 数											
小中学校訪問	3											
入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭等	22											
学校開放事業 (E ウイーク)	0											
学校経営説明会	0											
<p>臨時教育委員会</p>	<p>令和 4 年 12 月 第 1 回臨時教育委員会</p> <p>開催理由：小学校の統合に向けたあり方検討委員会からの第 3 次提言について</p> <p>令和 4 年 12 月 第 2 回臨時教育委員会</p> <p>開催理由：小学校の統合の建設地について</p> <p>令和 5 年 1 月 第 3 回臨時教育委員会</p> <p>開催理由：小学校の統合の建設地について</p> <p>令和 5 年度教育施策要綱(案)について</p> <p>適応指導教室事業実施要綱について</p>	<p>(評価・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 次提言書等の内容、総合教育会議での町長の意見も踏まえ、統合校の建設地としてどこが相応しいのか、教育委員会として審議を行った。 										

事業の区分

1 確かな学力の育成

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①徹底反復・集中速習による基礎学力の定着と活用力の育成 ②学力向上プランの活用促進 (R-P・D・C・A) ③授業の工夫・改善と授業時数の確保 ④少人数指導等による個に応じたきめ細かな指導の充実 ⑤英語教育の充実と、ALT 等を活用したコミュニケーション能力の育成 ⑥ふくおか学力アップ推進事業 (第3次)の推進 ⑦特色ある教育活動の推進 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 986 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全児童用に百マス計算と全漢字ドリルの教材を購入し、徹底的な反復学習により基礎学力の向上や定着に取り組んだり、朝読書を行ったりするなど、各学校が特色を生かした教育活動を行っている。 ○ 学力向上委員会を設置し、全国学力学習状況調査・福岡県学力調査の結果を踏まえて各学校での成果や課題を明らかにし、学力向上推進を行っている。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 9,200 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、令和3年度に来日できなかったALTが令和4年8月に来日できたことにより、2名の ALT が小・中学校を巡回して英語授業を行うことで、英語でのコミュニケーション能力育成を行っている。
<p>(2)ICT の活用等による新たな学びの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①GIGA スクール構想による教育環境の整備と研修 ②ICT 機器の計画的整備と積極的活用 ③プログラミング的思考能力の育成 ④情報モラル教育の推進 ⑤緊急時のオンライン学習に向けての準備と研修 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 2,087 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1人1台端末の利活用の向上を目的として、全端末台数分のタッチペンの購入を行った。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 20,350 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ GIGA スクール構想を推進していくため、小学校の普通教室には大型モニター、中学校の普通教室には電子黒板の整備を行った。 ○ 教務担当者会を活用した「ICT 教育推進委員会」において、1人1台端末の活用方法や、夏休みにおける家庭への持ち帰り等に向けた検討、準備等を実施した。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 徹底反復・集中速 習による基礎学 力の定着と活用 力の育成	小学校における徹底反復学習の 取り組み	6校	6校	◎
(1) ⑤ 英語教育の充実 と、ALT 等を活用 したコミュニケー ション能力の育成	ALT の配置	2名	2名	
(2) ① GIGA スクール構 想による教育環 境の整備と研修	ICT 支援員の配置	7校	7校	
(2) ② ICT 機器の計画 的整備と積極的 活用	1人1台端末と電子黒板(大型モ ニター)の整備	7校	7校	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

2 豊かな心の育成

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)豊かな人間性の育成</p> <p>①「特別の教科 道徳」の授業改善・充実</p> <p>②キャリア教育、体験活動の推進</p> <p>③読書活動の推進</p> <p>④福岡県重点課題研究「よりよい人間関係の形成に基づく学びに向かう集団づくり」(第3年次)の推進</p>	<p>(関連予算額 340 千円)</p> <p>○ 令和2年度から3年間、福岡県重点課題研究の指定を受け、研究主題「よりよい人間関係の形成に基づく学びに向かう集団づくり」副主題「協働して課題を解決する授業づくりを通して」を設定し、全小中学校教職員で推進をしてきた。最終年次の令和4年度において、これまでの実践の経過と研究の一端を公開する研究発表会を実施した。</p> <p>○ 鞍手中学校において、多数の地域の職業人を招いて「キャリア教育夢授業」を実施した。</p>
<p>(2)学校教育における人権教育の推進</p> <p>①人権教育推進体制の充実と意図的、効果的な人権教育の推進</p> <p>②人権・同和教育実践交流会や新転任者教職員研修会、各種研修会への参加奨励</p> <p>③人権を尊重した教育活動の展開及び指導方法の工夫・改善</p> <p>④一人一人の学力と進路の保障を目指した取組の充実</p>	<p>○ 各小中学校において、人権教育に対する教職員の認識・意欲の高揚のため、年間を通じて研修を実施している。また、各小中学校で、各教科・道徳・特別活動と関連付けながら特設の人権学習の時間を設けている。</p> <p>(関連予算額 220 千円)</p> <p>○ 町の実態をもとに地元教材づくりを進め、鞍手町人権教育地元教材として「笑顔になれる町」の動画教材DVDを制作した。令和2年度から行っている授業検証を踏まえ、令和5年度は「未来へのかけ橋」の発行に取り組む。</p>
<p>(3)生徒指導の充実</p> <p>①学級経営の充実</p> <p>②基本的な生活習慣の定着</p> <p>③道徳性の向上と規範意識の育成</p> <p>④家庭・地域との連携強化</p> <p>⑤いじめ・不登校児童生徒の未然防止と早期発見・対応の組織的な取組の推進</p> <p>⑥スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーターの活用</p>	<p>○ 県が小中学校にスクールカウンセラーを配置しており、学校や町教育委員会と連携を取りながら、いじめ・不登校問題の解決に向けて取組を行っている。</p> <p>(関連予算額 3,120 千円)</p> <p>○ 町単費でスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子どもの支援を行っている。</p>

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(2) ③ 人権を尊重した 教育活動の展開 及び指導方法の 工夫・改善	町の実態を基にした人権教育の 教材の作成	1件	1件	◎
(3) ⑥ スクールカウンセ ラー、スクールソ ーシャルワーカ ー、スクールサポ ーターの活用	SC、SSWの配置校数	6校	6校	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

3 健やかな体の育成

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)健康・安全指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校における感染症予防対策の徹底 ②健康と体力の維持増進 ③学校生活における児童生徒の安全確保と指導 ④体力向上プランの活用促進 ⑤登下校時における児童・生徒の安全確保 ⑥防災教育の充実 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 7,144 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国の補助金を活用し、消毒液や飛沫防止パネル等の新型コロナウイルス感染症対策用品の追加整備を実施した。 ○ 各小中学校で体力向上プランを作成し、体力向上に取り組んでいる。また「1校1取組」を作成し、重点化した実践を行った。 ○ 登下校時、児童生徒の安全確保のため青色防犯パトロール活動を行っている。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 31,104 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校では令和2年度からスクールバスによるバス通学を実施している。令和4年度は、3ヵ年契約の最終年となるため、令和5年度からの契約に向けて、運行事業者の選定を行った。 ○ 通学路の改善要望があった箇所について、鞍手町通学路安全推進会議を開催し、直方警察署と直方県土整備事務所等の関係機関と協議を行った。改善できた箇所もあるが、設置条件に合致しないものや用地買収等を伴うものがあるため、改善ができないものもある。
<p>(2)学校給食の衛生管理と指導の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校における衛生管理の徹底 ②食物アレルギー対策の徹底 ③食育の推進と給食指導の充実 ④地産・地消の推進 ⑤給食センター施設のあり方についての検討 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 29,964 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度に民間委託導入検討委員会を開催し、一部民間委託が提言されたことを受け、平成 30 年度から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食を安全かつ安定的に提供する体制を確立した。令和4年度は民間委託の5年目で、新しい委託業者との3ヵ年契約の2年目にあたり、衛生管理の改善並びに徹底に努めた。 ○ 給食センターの施設のあり方については、今後計画される統合小学校の付帯施設として整備される方向性で検討されている。また、老朽化している現存施設での学校給食事業を継続しながら問題点や課題を追究し、新たな施設での事業実現に向けての準備を進めていく必要がある。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 学校における感 染症予防対策の 徹底	学校内感染の発生件数	0件	0件	○
(1) ⑤ 登下校時におけ る児童・生徒の安 全確保	中学校開校日におけるスクール バスの運行の実施	100%	100%	
(2) ① 学校における衛 生管理の徹底	給食時間における手洗いの指導 推進及び給食当番の健康チェッ クの実施の徹底	7校	7校	
(2) ② 食物アレルギー 対策の徹底	各校と連携し、対象児童・生徒の 保護者へ詳細献立表を毎月配 布する	11回	11回	
(2) ③ 食育の推進と給 食指導の充実	栄養教諭と連携した各校での食 に関する指導の実施	5校	7校	
(2) ④ 地産・地消の推進	学校給食における鞍手町産食材 の積極的な利用	75%	100%	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

4 学校指導体制の整備

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)教職員の研修活動促進と資質の向上</p> <p>①効果的な徹底反復・集中速習</p> <p>②授業研究等を通じた指導力の育成</p> <p>③教育実践の計画・実施と評価</p> <p>④協働研究・研修の推進と各種研修会への参加奨励</p> <p>⑤小・中学校の連携強化と校区連携事業の推進</p>	<p>○ 町主催の夏期研修会を講師を招聘して実施し、全職員を対象に徹底反復・集中速習について研修を行った。</p> <p>○ 鞍手地区教育研究所部会において、各教科部会への積極的な参加を推奨し、教職員の資質向上に努めた。</p> <p>○ 県の重点課題研修の推進と関連付けながら、小中学校で「鞍手型授業メソッド」（「問い」「めあて」「対話的交流」「振り返り」）の共通理解を図り、実践に取り組んだ。このことにより、1単位時間の授業の流れを各教師が意識し、授業改善の気運が高まった。</p>
<p>(2)教職員の職務遂行と服務の厳正</p> <p>①教育公務員としての自覚と綱紀の厳正な保持</p> <p>②教師として使命感のある言動</p> <p>③飲酒運転、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント等の防止</p>	<p>○ 定例の校長会議の際、飲酒運転、わいせつ行為、政治的行為、個人情報 の適切な取扱い、その他信用失墜行為の禁止など、綱紀の厳正な保持について指導の徹底を図っている。また、各学校において、管理職が日常的に綱紀の厳正な保持についての指導を行っている。</p>
<p>(3)教職員の働き方改革の推進</p> <p>①教職員が担う業務の精査及び適正化</p> <p>②学校を支える体制の構築</p> <p>③教職員の業務改善と意識改革</p>	<p style="text-align: right;">(関連予算額 264 千円)</p> <p>○ 勤怠管理システムを導入し、教職員の在校時間の客観的な把握を行っている。</p> <p style="text-align: right;">(関連予算額 278 千円)</p> <p>○ 学校における働き方改革事業として、小学校では「学校支援ボランティア事業」に2校が協力し、学校支援ボランティアと連携しながら進め、教職員の業務改善に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">(関連予算額 1,285 千円)</p> <p>○ 室木小が完全複式学級となったことによる教職員の負担軽減を図るため、町費負担の「複式学級支援員」を2名配置する計画であったが、昨今の教員不足の現状も影響し、1名しか配置できなかった。</p>

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(4)教育諸条件の整備充実</p> <p>①施設・設備の充実 ②教育機器の導入と活用 ③学習環境の整備 ④小学校の在り方についての検討 ⑤特認校制度の運用</p>	<p>(関連予算額 5,162 千円)</p> <p>○ 小中学校の既存の電話機には、音声ガイダンスや留守番機能が付いていなかったため、それらを可能とする電話応答装置を整備した。</p> <p>(関連予算額 6,881 千円)</p> <p>○ 各学校の緊急的な修繕等を実施することで、学習環境の整備を図った。</p> <p>○ いつまでに、どこに、どんな小学校を整備するのか、昨年度に引き続き附属機関である鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会での協議、提言を踏まえ、鞍手町立小学校統合基本計画の策定作業を進めた。 統合小学校の建設地に関して、町長との意思統一を図ることが難航し、基本計画を策定するに至らなかった。</p>
<p>(5)学校と地域の連携・協働</p> <p>①学校評価システムの確立と学校運営の工夫・改善 ②学校・家庭・地域が一体となったコミュニティ・スクールの推進</p>	<p>○ 全小中学校で年間計画に沿って学校運営協議会を実施し、学校長の教育目標をもとに運営委員と連携した学校評価を行い、客観性・透明性を図りながらよりよい学校運営に取り組んでいる。</p> <p>○ 全小中学校が、コミュニティ・スクール2年目としての取り組みを地域との連携を大切にしながら推進している。</p>

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(3) ② 学校を支える体制の構築	学校支援ボランティア事業の実施校数	2校	6校	△
(3) ③ 教職員の業務改善と意識改革	複式学級支援員の配置	1名	2名	
(4) ④ 小学校の在り方についての検討	統合校の開校	方針決定 (1校へ統合)	統合校開校 (規模適正化)	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

5 特別支援教育の推進

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none">①インクルーシブ教育の推進②個に応じた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と実践③「障害者差別解消法」への対応と合理的配慮の推進④特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な取組の推進⑤ユニバーサルデザインの視点を活かした授業⑥就学相談の実施⑦関係機関(就学前、福祉、医療機関等)との連携強化⑧特別支援教育支援員の配置⑨通級指導教室の充実	<p style="text-align: right;">(関連予算額 27,628 千円)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 特別支援学級に町費負担の「特別支援学級補佐職員」を配置しており、児童生徒の実態に応じた学習支援を行っている。○ 各学校において、特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援学級担任と通常学級の担任が連携しながら、児童生徒の実態に応じた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・実践を行っている。○ 例年、保幼小の他、鞍手町保健師と合同で就学前の児童の情報を交換・共有し、一貫した指導ができるように特別支援教育連携協議会を実施した。○ 剣北小学校に通級指導教室を設置し、自校通級、巡回による指導により、よりきめ細かな指導を行うことができた。○ 鞍手中学校に通級指導教室が設置されているが、配置が非常勤講師であるため、一人ひとりの生徒への指導時間が十分に確保できていない。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ⑥ 就学相談の実施	希望者への就学相談の実施	13名	13名	○
(1) ⑧ 特別支援教育支援員の配置	特別支援学級補佐職員の配置	24名	25名	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

6 社会教育の充実

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)社会教育振興のための諸機関の機能化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合的見地に立つ施設整備の構築(中央公民館改修工事) ②社会教育施設の運営と活用 ③社会教育関係団体の自主的活動の促進 ④家庭・地域の教育力を高めるための啓発・推進 ⑤子育て学習活動の推進 ⑥男女共同参画社会の啓発・推進 ⑦学社連携・融合事業の推進 ⑧学習習慣の定着を図る「鞍手町放課後子ども教室」「くらて寺子屋」の実施 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 6,580 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中央公民館、体育施設などの公共施設は老朽化が進んでいるが、厳しい財政事情の中、なかなか環境の改善に至っていない。修繕、改修工事箇所の優先順位を検討し、順次、利用環境の改善に努める。令和4年度、文化施設では博物館、体育施設では弓道場のトイレ改修事業を行った。令和5年度は、文化施設は中央公民館内部及び受変電設備の設計及び改修、体育施設は武道館及び体育館のトイレ洋式化工事に向けた実施設計を予定している。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 163 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の小学校2年生以上の児童を対象に「くらて寺子屋」を年間 19 回実施した。15 名の小学生と4名の学習ボランティアの参加で、学習習慣の定着に向けて自学自習を中心に取り組んでいる。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 751 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭内での親子のふれあい時間の確保や安全な下校対策を考慮し、全小学校で放課後子ども教室を実施し、小学生 32 名と学習サポーター14 名で進めた。さらに学校・家庭・地域の連携を推進するための広報活動を行っている。
<p>(2)生涯学習まちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習機会の提供と学習成果の活用の促進 ②生涯学習における人材の確保と活動の促進 ③公民館事業の推進及び活動の促進 ④図書室利用の促進と子ども読書の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・お話の会、読書祭り、ブックスタート、保育園等配本の充実 ・レファレンスの強化推進 ⑤自治公民館活動の促進 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 160 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所・幼稚園及び保健センターへ配本を行い、多くの子どもたちに絵本を提供することができた。 ○ 令和4年度は、年10回お話し会を実施した。読み聞かせや工作など実施し、読書活動の推進に取り組んでいる。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 5 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度は、読み聞かせ、歴史講座、介護講座、ヨガ体験講座の4回公民館講座を実施した。令和5年度は、年齢層に分けて、公民館講座を実施し、地域の活動に取り組むよう予定している。

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(3) 青少年の健全育成</p> <p>① 青少年育成町民会議と連携し、小学校区、自治公民館を中心とした青少年健全育成運動の推進</p> <p>② 学校外生活指導の活性化</p> <p>③ 子ども会育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修会、子どもフェスタ、スポーツ大会等の実施 <p>④ いじめ防止の推進及びアンビシャス運動の推進</p>	<p style="text-align: right;">(関連予算額 94 千円)</p> <p>○ 青少年の健全育成に向け、地域と連携しながら、青色回転灯防犯パトロール活動を実施した。青少年健全育成講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。</p> <p style="text-align: right;">(関連予算額 160 千円)</p> <p>○ 「野外生活リーダー研修」「子どもフェスタくらて2022」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。ニュースポーツ「スローイングビンゴ」を採用し、研修会等を行い「体育大会」を実施し、57名の参加があった。</p> <p>○ 青少年育成町民会議では、7月のいじめストップ月間では、いじめに関する、チラシ及び啓発物(花の種)を学校を通じて全児童に配布してゐる。</p>
<p>(4) 生涯スポーツの振興</p> <p>① 健康と体力づくりを目指した、スポーツの振興・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民体育祭、体育協会主催事業等の参加奨励によるスポーツの振興 ・健康づくり、体力づくり意識の普及と浸透 ・ニュースポーツの普及と推進 <p>② スポーツの日常化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設活用の促進 <p>③ 自主的スポーツ団体の促進と支援</p>	<p style="text-align: right;">(関連予算額 689 千円)</p> <p>○ 町体育協会では、8団体 390名が会員として活動しているが、団体によっては会員の減少により活動の低迷が見られる。また、町民が一同に集まり、親睦を深め、スポーツを行う町民体育祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。</p> <p>○ 町民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康で楽しく暮らしていけるような施設の提供及び管理運営に努めているが、各施設の老朽化が進み、一部修繕、改修工事が必要な箇所が多く見られるため、今後も計画的な修繕工事を実施していく。</p> <p>○ 施設予約については、インターネットの活用により平日の時間外及び土・日・祝日においても予約が可能であり、住民サービスの向上につながっている。</p>

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(5)社会教育における人権・同和教育の推進</p> <p>①人権教育に関する講演会・学習会等の実施や啓発活動の推進</p> <p>②鞍手町人権・同和教育研究協議会の取組の推進</p> <p>③鞍手町人権子ども会の育成</p>	<p>(関連予算額 285 千円)</p> <p>○ 感染対策をしながら町内の各小中学校の合計7ヶ所で人権問題地区学習会を開催し、全体での 840 人の参加があった。</p> <p>(関連予算額 591 千円)</p> <p>○ 感染対策として、事前申込みや、人数の制限を行いながら3年ぶりに、6月の人権教育学級、7月の同和问题啓発強調月間、12月の人権週間の集い講演会を行った。</p> <p>(関連予算額 770 千円)</p> <p>○ コロナ過ではあったが、年間を通して、県及び町の講演会、研修会へ参加、学校部会と連携し、あらゆる差別の撤廃に向け教育・啓発の取組を行っている。</p> <p>(関連予算額 1,425 千円)</p> <p>○ 小中学生を対象とした人権子ども会を6月より実施し、学習や体験活動を通して、人権啓発の取組を充実させることができた。今後も継続していく。</p>

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 総合的見地に立つ施設整備の構築(中央公民館改修工事)	中央公民館の改修工事 (内部改修、受変電設備改修)	令和4年度	令和5年度 (実施設計) (改修工事)	
(1) ⑧ 学習習慣の定着を図る「鞍手町放課後子ども教室」「くらて寺子屋」の実施	「鞍手町放課後子ども教室」の 実施校数 「くらて寺子屋」の参加人数	6校 15人	6校 20人	
(2) ① 学習機会の提供と学習成果の活用の推進	公民館講座の参加人数	49名 (4回実施)	120名 (5回実施)	○
(3) ① 青少年育成町民会議と連携し、小学校区、自治公民館を中心とした青少年健全育成運動の推進	青色パトロール車の台数	21台	25台	
(5) ① 人権教育に関する講演会・学習会等の実施や啓発活動の推進	参加延べ人数	1,103人 (児童・生徒を含む)	1,200人	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

7 文化の振興・文化財の保護

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)豊かな文化的環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町民の文化活動の育成・振興 ②自主的文化団体の育成 ③各校における郷土学習の支援と促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中央公民館のサークル活動は、高齢化が進み会員数の減少や参加人数が減少しているため、新たな層や地元の発掘を目指して、公民館活動を推進する。令和4年度は2つのサークルが休止した。令和5年度は新たに親子習字サークルを承認し、若い世代の参加を図る。
<p>(2)文化財の保護・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①無形文化財の保存と促進 ②有形文化財の保護と活用 ③歴史民俗博物館の充実と発展 ④博物館別館(石炭資料館)の建設準備 ⑤各校における郷土学習の支援と促進 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 128 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍ではあるが、各保存会と密に連絡を取り合い保存に関わる町民の意識が高まるように努めた。また、祭りの用具等の整備に関して各種補助を行った。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 715 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 博物館では、企画展「伊藤家三代 常足・南華・直江」を開催した。また、「ふるさと鞍手第57号」を発行し、来館者に配布している。令和5年度は博物館が新庁舎等建設工事に伴う休館のため、別会場での出張企画展を開催する。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 16,169 千円 うち5年度繰越明許 9,152 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度は(仮称)博物館別館建設事業として、展示工事の実施設計を行った。令和5年度は展示工事の準備工事を予定している。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 町民の文化活動 の育成・振興	中央公民館のサークル数	19 サークル	22 サークル	○
(2) ① 無形文化財の保 存の促進	無形文化財の実施及び記録保 存等の支援	コロナ対策の ため未実施		
(2) ② 有形文化財の保 護と活用	史跡等の環境整備 史跡等の見学案内	4箇所 コロナ対策の ため未実施	4箇所	
(2) ③ 歴史民俗博物館 の充実と発展	教育普及(企画展)の実施	1回	1回	
(2) ④ 博物館別館(石炭 資料館)の建設準 備	博物館別館の開館 (展示工事)	令和4年度 (実施設計)	令和5年度 (準備工事)	
(2) ⑤ 各校における郷 土学習の支援と 促進	郷土学習支援校数	6校	6校	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×